

中経論壇

経営支援NPOクラブ広報委員

井上 真己子



ちらかが外国籍の人口が増える中で日本人らしさとは何か、性的マイノリティの苦し

昨年秋、埼玉県立川越女子高校で、人権について話をする機会を得た。現役時代の報道という仕事を紹介しつつ、過去に取材した人権問題の例をいくつか取り上げることにした。

全ての人に平等にあるはずの人権が、今、世界の多くの

当日、壇上に立つと、今どきの女子高生が関心を持って

場所ので侵害されている。戦争や紛争は人権侵害の最たるもの

の心配は杞憂(きゆう)に終

問題には、法制度と人の心という二つの側面がある。法制

わり、体育館の床に座った全

度は、社会に照らして不断の

視線をひしひしと感じる時間

の心の中は見えず、差別は至

となった。

筆者の退職直前に起きた安倍元総理銃撃事件、両親のど

人権問題を考える

気候はよいとはいも思える」と。

え、10月の冷たい床 ちよとどその頃、日本被団

にじつと座って聞いた 協のノーベル賞受賞の発表

てくれた生徒たち があり、協議会の長年の努力

の、講演後の質問は について報道があった。目を

鋭かった。死刑制度 引いたのは、高校生たちの取

の是非に関連して、 り組み。2001年から核

犯罪被害者と加害者 兵器廃絶に向けた運動をし

の人権の問題、米大 ているという。03年、広島平

統領選を目前に控 和記念資料館への入館者数

え、ポピュリズムの は110万人であったが、20

問題など、即答が難 年後の23年には198万人

しい問いだった。あ 以上が訪れた。運動の結実を

つという間に5時限 見たというにはまだ遠い道

目終了のチャイムが のりであるが、少なくとも次

鳴り、それ以上の質 の世代にバトンタッチされ

問には後日応えるこ た、あるいはされつつある、

とにした。半月後に ということではないか。高校

送られてきたアンケ 生の活動に深い感銘を受け

ートには、多くの質 た。

問が寄せられ、気に きて、上記の高校生の気

なるものもあった。 なる質問には「そこに問題

「差別や多様性とい や差別がある限り、たとえ陳

う言葉は、生まれた 腐と思われても、私たちは

時から聞いている。 言い続けないといけないの

それはもはや陳腐と ではないか」と返信をした。

高校生たちの自由な発想と

行動力が、今世界を覆う暗雲

を払ってくれることを切に

願う。

若者の活躍に期待